

災害時に行う応急給水

災害による断水時には、避難所や浄配水場などに開設する給水拠点で給水します。水を受け取る時は、ペットボトルや水を入れる容器などをご持参ください。

応急給水地点の開設状況は、広報車での放送や市HPでお知らせします。



市HP (災害対策)



給水車



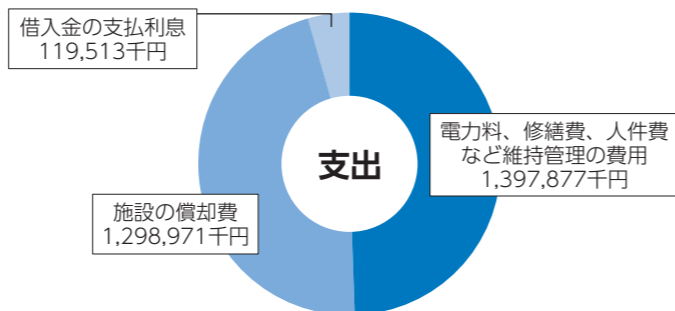
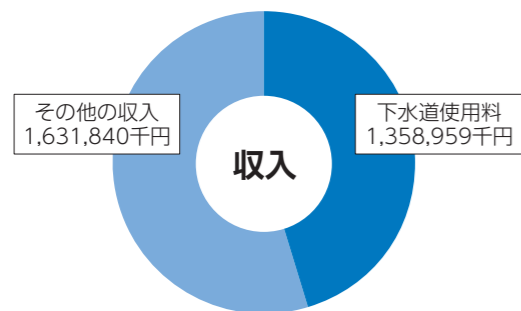
給水訓練の様子

令和8年度東松山市下水道事業予算の概要

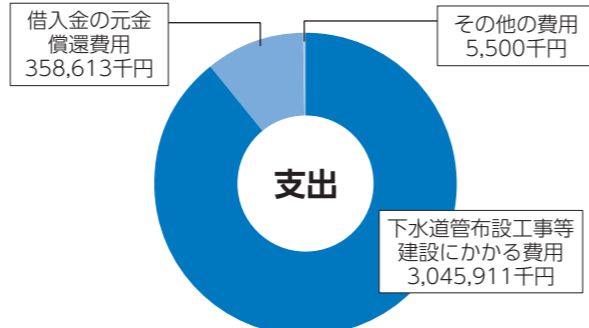
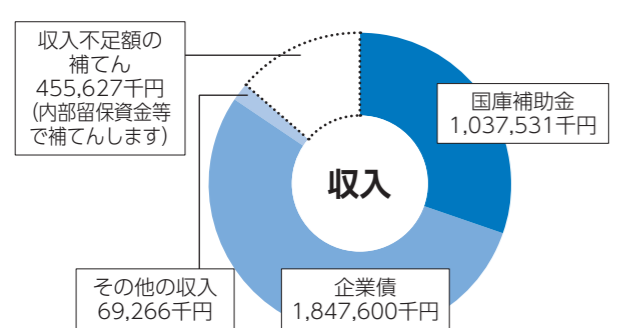
1 業務の予定

水洗化戸数	24,600戸
年間有収水量	6,529,000m ³
1日平均有収水量	17,888m ³
管きょ整備事業	汚水管きょ・雨水管きょ整備工事及びマンホール鉄蓋更新工事
処理場等整備事業	市野川浄化センター・高坂浄化センター設備更新工事

2 「下水」を処理するための営業部門の予算



3 施設をつくるための建設部門の予算



下水道施設の建設や老朽化した設備の更新には多額の費用が必要です。限られた予算の中で、引き続き施設等の適正管理を行います。

公共下水道を使用しているご家庭では、次のことにご注意ください

排水管の詰まりにご注意を

近年、節水型器具の普及により、水量が少ないことで排水管が詰まる場合があります。便器から汚物が流れても、敷地内の排水管に残ってしまい、繰り返し使用することで詰まってしまうことがありますので、時折多めの水を流すようにしてください。

食後の片付けは汚れを拭き取ってから

下水道の大敵は油です。油を流すと下水道を詰まらせる原因となりますので、洗い物をする際、油汚れはキッチンペーパー等で拭き取ってから洗ってください。



下水道が整備されたら下水道への接続をお願いします

浄化槽の維持管理・メンテナンスが不要になります

浄化槽の維持管理には点検やくみ取り、電気代などの費用がかかります。さらに浄化槽にも耐用年数があります。

下水道への接続工事に一時的な負担はかかりますが、長い目でみれば下水道に接続するメリットは大きいものがあります。



街の生活環境が改善されます

浄化槽や浄化槽処理水の放流先からの悪臭漏れや害虫の発生がなくなり、街の生活環境が向上します。

川や海の水質を保全します

公共下水道により、放流水の水質管理を行うことで、きれいな川や海を未来に残すことができます。



土地が私道のみで接している場合

下水道を利用するためには、私道内に、私道の土地所有者と下水道を利用したい人々が協力して、私設管を設置する必要があります。私設管の設置には市からの補助金がありますので、条件等については市HPをご確認ください。



市HP (補助金)

下水道整備済区域

市内で下水道が整備済みの区域や注意事項については、市HPをご確認ください。



市HP (整備済区域)

設備の更新や耐震化を進めています

下水を処理する市野川浄化センターは昭和52年の供用開始以来、修繕を重ねながら運用するとともに、老朽化した設備の更新や耐震化を進めています。

現在は塩素消毒設備の更新や塩素混和池の耐震補強工事を実施しており、今後も安定的な下水処理を維持していくため、施設の適切な維持管理や更新・耐震化に取り組んでいきます。



市野川浄化センター塩素消毒設備等更新工事

上下水道経営課 ☎22-1123 ☎22-4389